

## Magnetic Wave Guide の導入(5)

### 1. はじめに

前報(4)に引き続き、Magnetic Wave Guide MC-0.5 のタップ装着テストを行います。

### 2. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の試聴計画

Magnetic Wave Guide MC-0.5 をいくつか対象を選んでテストしていきますが、今回はインフラノイズのタップリベラメンテに使用してみました。

このタップにはすでに iFi の iPurifier AC がセットされており、iPurifier AC と入れ替えます。従って音質への影響はノイズキャンセラーである iPurifier AC と Magnetic Wave Guide というメカニズムの違ったものの比較ということになります。

上記のタップからは、アナログ再生系の LINN LP-12、ZANDEN Model 120 および Garrad401 などの電源を採っています。



Magnetic Wave Guide MC-0.5 の効果を、次の音源の LP-12 によるアナログ再生で確認してみます。

**Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929**

**J.S.Bach Sonatas & Partitas**

**Nathan Milstein**

**ドイツグラモフォン MG9551**

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

**LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)**

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

**Angel (東芝 EMI) AA 9117・C**

ゲオルグ・フドリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

### 3. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の試聴結果

iPurifier AC を装着した状態で聴きなれた音質を再確認し、Magnetic Wave Guide と差し替えて、直後、2 時間後、4 時間ごと聴いていきます。

iPurifier AC を装着した状態では、TruPhase から 300B アンプまでをバランス接続し、要所に VRA-7 を適用していることから、これ以上の変化はないだろうと思っておりましたが、Magnetic Wave Guide への差し替え直後には、劇的とは言えませんが、次のような変化がありました。

Bach の Sonatas & Partitas では、ミルシュテインのヴァイオリンの切れ味はそのままに、艶が乗ってきます。

選帝侯のソナタでは、余分な響きが減って、打鍵の様が引き締まってきます。

ワルキューレでは、個々の音の分離がよくなり、楽器やソプラノ、メゾソプラノの位置関係の把握が容易になります。

メサイアでは、合唱の分離がよくなり、シュワルツコップの声や弦に艶が乗ってきます。

Magnetic Wave Guide への差し替え 2 時間後になりますと、Bach の Sonatas & Partitas では、ミルシュテインのヴァイオリンの透明度が向上し、ボウイングの様が捉えられやすくなります。

選帝侯のソナタでは、打鍵のエッジの効き方と響きのバランスが取れています。

ワルキューレでは、音や声の分離がさらによくなります。

メサイアでは、さらに合唱の分離と協和がよくなり、シュワルツコップの声に張りがでて弦の分離が向上します。

Magnetic Wave Guide への差し替え 4 時間後になりますと、Bach の Sonatas & Partitas では、間接音が豊かになって、ミルシュテインのヴァイオリンが芳醇な音になります。

選帝侯のソナタでは、間接音が豊かになり、響きが豊かになります。

ワルキューレでは、間接音が豊かになり、押出がよくなります。

メサイアでは、合唱、シュワルツコップのソロ、弦楽合奏などの間接音が豊かになります。

なお、iPurifier AC が除かれたことによる静寂感の後退は認められません。

### 4. まとめ

アナログ再生系の LINN LP-12、ZANDEN Model 120 の電源を採っているインフラノイズのタップリベラメンテに Magnetic Wave Guide を装着する効果を認めました。

以上